



## 表紙のこぼれ

2月8日、浅羽海岸で約700人が参加して、防風林の植樹活動「グリーンウエーブキャンペーン」が行われました。市では、平成17年度から5年かけて、浅羽海岸約5kmに松枯れに強い抵抗性のクロマツを植え、松林を再生しようと取り組んでいます。

今年は、1,100㎡に約1,800本を植樹。植樹後には、豚汁や甘酒が振る舞われ、冷えた体を温めていました。

## 市民の動き

人口/87,169人 (前月比+51人)

(外国人登録者4,195人含む)

男性/43,980人 (前月比+42人)

女性/43,189人 (前月比+9人)

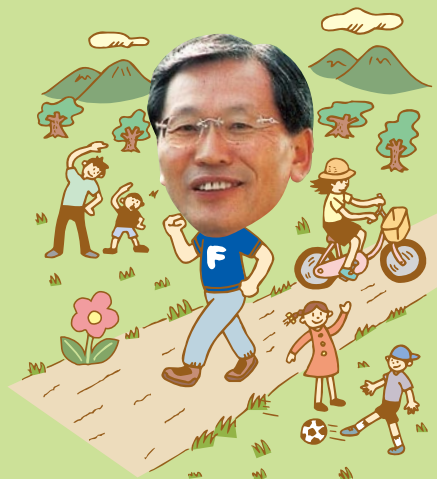
世帯数/30,853世帯 (前月比+41世帯)

平成21年2月1日現在

# 原田市長の

さんぽみち

# 散歩道



今春は、スギの花粉が昨年より2.5倍ほど多いことで、花粉症対策のマスクを掛けている人を多く見かける。加えて、新型のインフルエンザが世界中で流行する兆しがある。このインフルエンザは、最悪の場合、全国で人口の4分の1の3,200万人が発症し、200万人が入院、64万人が死亡すると推計されている。県では、治療薬タミフルを31万人分備蓄し、16病院で対応できるようにしている。感染予防として帰宅後につがいと手洗い、くしゃみをする時は、他人から顔をそらし、口や鼻を覆うことを提唱している。

先日、映画「感染列島」を見た。東南アジアの孤島で発生したウ

## 映画「感染列島」

イルス性の病原菌が国内に持ち込まれ、治療薬がないので、瞬く間に全国にまん延し、3,000万人が感染し、次々に亡くなってしまう。鳥インフルエンザと間違われながら、やっと発生源が突き止められ、治療薬が開発されて解決するが、多

くの犠牲者を出す結果となった。

感染症の恐ろしさを知らされた一方で、自ら志願して、昼夜を分かたず献身的に働く医師や看護師に感動し、自分の体を実験台にして、新しい治療法を試みるヒロインに涙した。

4年後に、袋井市民病院と掛川市

立総合病院が統合して新しい病院ができることになった。統合のきっかけは、両方の病院の医師不足を解決することであったが、本来の目的は、袋井・掛川両市民が安心して暮らせるレベルの高い病院をつくることにある。

私たちは、いつ、どんな病気に襲われるかわからない。日々の生活の中で、一人ひとりが健康のために努力することは、もちろん必要であるが、病気になった時に安心できる医療の体制を整えておくことは、市の重要な責務だ。

新しい病院が、志高く、献身的に働く医療関係者で運営され、市民が信頼し、誇りに思う病院となることを目指して、頑張りたいと思う。



2009年(平成21年)3月1日発行 第95号

編集・発行/  
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係  
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1  
TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp